

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2020年4月調査結果-

## 調査概要

- 調査期間 2020年4月13日～4月30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 134社
- 回収率 67.0%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

## 旭川市概況

※全産業の4月の状況を見ると業況DIは、前月より3.1ポイント悪化の▲50.7となった。

2017年9月以来32ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲64.9、当月と比べ14.2ポイントの悪化が見込まれる。

## 旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2019年 11月	12月	2020年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 2020年 5月～7月
業況	▲25.2	▲16.5	▲26.0	▲29.6	▲47.6	▲50.7	▲64.9
売上	▲26.0	▲22.3	▲20.4	▲28.7	▲50.0	▲53.7	▲66.4
採算	▲26.1	▲19.0	▲20.4	▲28.7	▲43.6	▲47.0	▲64.9
仕入単価	▲40.7	▲35.5	▲34.2	▲25.2	▲12.0	▲18.6	▲27.6
販売単価	2.6	5.8	4.9	▲4.3	▲12.1	▲14.2	▲13.4
従業員	29.4	31.4	30.9	28.7	19.3	13.5	11.8
資金繰り	▲4.2	▲6.6	▲6.5	▲10.5	▲21.8	▲29.8	▲38.8

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2019年 11月	12月	2020年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 2020年 5～7月
建設	▲30.0	▲17.2	▲13.8	▲28.6	▲28.6	▲10.3	▲44.8
製造	▲26.6	▲7.1	▲31.1	▲17.9	▲34.5	▲39.3	▲60.7
卸売	▲17.4	▲12.0	▲18.5	▲25.0	▲42.3	▲53.1	▲59.4
小売	▲26.3	▲21.0	▲36.8	▲31.6	▲71.4	▲77.3	▲81.8
サービス	▲23.5	▲30.0	▲36.8	▲56.3	▲75.0	▲87.0	▲87.0

## 今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染予防に対して衛生品等の入手不足や高価購入を強いられるなど経費面での支出が大きくなり今後も続くことが懸念される。他物価についても値上げ状況が不安。（総合工事）</li> <li>・コロナウイルス対策のために工事現場が休止の恐れがある。工事を受注していても売上を確保できない可能性がある。（設備・その他）</li> <li>・新型コロナウイルスの影響は、住宅見学会の自粛や営業に顕著に出始めている印象がある。工事の進捗には影響はないが、今後中国で製造されている部品に欠品が生じる可能性があり、建物完成引渡しの遅れが心配である。（建築）</li> </ul>
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響による受注の大きな減少。（家具木材）</li> <li>・今後出荷数が減少するのは間違いなく見通しがみえないのが大きな問題。（印刷・出版）</li> <li>・当月は物件物があり納品のタイミングで売上が減少。工場の操業は順調で仕入アルミ材で運賃値上げがあり単価が上昇したが販売価格もスライドで上げたので影響はないが、コロナウイルス感染拡大がいつ頃収束するか判明せず、長引けば何らかの影響を受けると考えられる。（金属窯業他）</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの影響による各方面への自粛要請に伴い、自社でも外出営業や配達業務を自粛したことにより新規売上の機会ロスにつながった。又、ウイルス対策商品の供給不足も売上に影響している。（繊維）</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により、観光土産や飲食店業務用などは売上低迷となっているが、その分スーパーやドラッグストアで売上をカバーしている状況。（食料品）</li> <li>・少子高齢化による住宅（新築リフォーム）の減少により売上減。職人不足による工事（受注）ができない。（機械鋼材）</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で売上が大幅に減少。（食料品）</li> <li>・コロナウイルス感染症の影響で週末の来店客がゼロになっている。外出自粛で顧客に新商品の連絡も出来ず売上を作る手段もなくお手上げの状態。メーカーへの支払代金の資金が大変。（衣服見回品）</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止のため観光客減少、外出自粛などの影響で燃料油販売量が減少。OPECの原油減産合意により仕入価格が上昇する可能性が出てきた。自粛によりゴールデンウィークの人手が心配。（その他）</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で販売商品の入荷が遅延、納期末定などが出ている。（その他）</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルリネンを中心に全売上の6割を担っています。コロナウイルスの影響により、ホテルの宿泊客が激減のため洗濯物8割減、病院寝具一式の洗濯物は少々減、全体で25%減の1ヶ月3,000万の売上減となり大変な状況。（理美容・クリーニング）</li> <li>・コロナウイルスによる影響で市内マーケット価格が下落。稼動、単価とも6月まで厳しい状況。（ホテル・旅館）</li> <li>・コロナウイルスの影響によりホテルでの会合中止等で看板類のキャンセル、又コンビニエンス看板のメンテナンス一斉中止による全体的に先行きが見えない状況。（その他）</li> <li>・新型コロナウイルスによる不要不急の外出自粛要請で路線バス利用客50%、都市間利用客60%減と大幅減収となっている。貸切専門業者は全く仕事がない状態、乗務員不足解消の目途はたたず経営の行き先は不透明である。（運送）</li> </ul>

## 旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI18.1 ポイント改善、採算 DI11.5 ポイント改善、仕入単価 DI1.4 ポイント改善、販売単価 DI6.9 ポイント悪化、資金 DI3.8 ポイント改善、従業員 DI5.6 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 18.3 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、建築業横ばい、総合工事 29 ポイント、設備・その他 11 ポイント改善となった。コロナウイルスが終息した後、経済社会の状況が大きく変わっていると思われるので情報収集に努めたいとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI18.9 ポイント悪化、採算 DI8.0 ポイント悪化、仕入単価 DI18.1 ポイント悪化、販売単価 DI3.6 ポイント改善、資金 DI14.3 ポイント悪化、従業員 DI13.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 4.8 ポイント悪化となった。業種別では、家具・木材 6 ポイント改善、印刷・出版横ばい、食料品 3 ポイント、金属窯業他 22 ポイント悪化となった。販売数量の減少により、過剰在庫になってきているとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI13.1 ポイント悪化、採算 DI14.7 ポイント悪化、仕入単価 DI7.9 ポイント悪化、販売単価 DI0.3 ポイント悪化、資金 DI8.8 ポイント悪化、従業員 DI9.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 10.8 ポイント悪化となった。業種別では、繊維・衣服等 13 ポイント、食料品 8 ポイント、機械鋼材 17 ポイント、その他 21 ポイント悪化となった。昨年 1 年間メーカーで事故等があり品薄だったがなんとか商品が補充できたが現在は販売高が下がり在庫過多と配達等でコスト増となり、今後いかにして在庫率を下げるかが問題との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI5.4 ポイント悪化、採算 DI6.6 ポイント悪化、仕入単価 DI5.1 ポイント悪化、販売単価 DI12.8 ポイント悪化、資金 DI3.1 ポイント悪化、従業員 DI0.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 5.9 ポイント悪化となった。業種別では、衣料品 17 ポイント改善、食料品横ばい、その他 21 ポイント、自動車 8 ポイント悪化となった。野球関連のウエイトが高いため、コロナウイルスの影響が大きいとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI6.7 ポイント改善、採算 DI6.0 ポイント改善、仕入単価 DI2.4 ポイント悪化、販売単価 DI8.9 ポイント改善、資金 DI14.6 ポイント悪化、従業員 DI10.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 12.0 ポイント悪化となった。業種別では、運送 50 ポイント改善、理美容・クリーニング、ホテル・旅館横ばい、その他 25 ポイント、飲食 50 ポイント、整備業 50 ポイント悪化となった。先行きが見えず、復活策を考えるべきであるが資金の不安も大きく実行策が見えてこないことが問題との声も寄せられている。</p>